

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 北斗病院
歯科口腔外科部長 牧野 修治郎 先生
2. 演題 口腔外科医の習熟目標 —時代背景と目標設定—
3. 日時 2018年10月4日(木)18:00~20:00
4. 場所 7号館(歯学部校舎棟)1階 第1講義室
5. 要旨

口腔外科学会に若手口腔外科医委員会が設けられた。外科医の育成目標は時代により変わる。口腔がん診療を目指した演者の研修時代は、全身管理、手術手技、病理診断の習得を目標とした。LORÉは著書で外頸動脈の結紮、胸腔ドレーンの留置を、2004年の米国頭頸部外科学会は超音波検査、鼻咽腔ファイバー検査を必須としている。口腔がん診療を行うにあたり、これからの口腔外科医の習熟目標について考えてみたい。

連絡先： 原田 浩之 (顎口腔外科学分野 内線 5506)